

事業名 校区サポーター育成事業
 団体名 一般社団法人移住者人材バンク

様式第2 (第8条関係)

事業計画書①

(つつじ補助金・くすのき補助金)

| | | | | | |
|---|---|--|--|--------------------------|--------------|
| 事業の区分 (該当する事業をチェック☑) | (1) 保健、医療又は福祉の増進を図る事業 | <input type="checkbox"/> | (11) 国際協力を行う事業 | <input type="checkbox"/> | |
| | (2) 社会教育の推進を図る事業 | <input type="checkbox"/> | (12) 男女共同参画社会の形成の促進を図る事業 | <input type="checkbox"/> | |
| | (3) まちづくりの推進を図る事業 | <input checked="" type="checkbox"/> | (13) 子どもの健全育成を図る事業 | <input type="checkbox"/> | |
| | (4) 観光の振興を図る事業 | <input type="checkbox"/> | (14) 情報化社会の発展を図る事業 | <input type="checkbox"/> | |
| | (5) 農山漁村又は中山間地域の振興を図る事業 | <input type="checkbox"/> | (15) 科学技術の振興を図る事業 | <input type="checkbox"/> | |
| | (6) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る事業 | <input type="checkbox"/> | (16) 経済活動の活性化を図る事業 | <input type="checkbox"/> | |
| | (7) 環境の保全を図る事業 | <input type="checkbox"/> | (17) 職業能力の開発又は雇用機会の拡充の支援を行う事業 | <input type="checkbox"/> | |
| | (8) 災害救援事業 | <input type="checkbox"/> | (18) 消費者の保護を図る事業 | <input type="checkbox"/> | |
| | (9) 地域安全事業 | <input type="checkbox"/> | (19) 公益的社会的貢献活動団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助を行う事業 | <input type="checkbox"/> | |
| | (10) 人権の擁護又は平和の推進を図る事業 | <input type="checkbox"/> | (20) 前各号に掲げる事業に準ずる活動として愛知県条例で定める事業 | <input type="checkbox"/> | |
| ①現状把握・分析 事業目的 事業実施の理由、地域課題の解決につながる事業の目的 必要性 | <p>当団体で作成したメディア「Sumuuru(スムイル)」により、豊橋の魅力につながる人や場所、イベント等の紹介を行っている。ただし依然として校区単位の情報量が少なく、より深い地域の情報や雰囲気発信の必要性を感じている。特に移住等でくる場合により生活に密着した情報(子どもの習い事や環境や病院、介護施設等の情報)を希望される方も多いが、そうした情報が現在インターネット上に乏しく、自身でコミュニティ構築を行わない限り入手しにくい状況にある。一方で、校区内において地域においてコミュニティ活動に熱心に参加される方や情報発信をされている方もおり、そうした情報がうまく必要な人に届いていない。そのため、そのような方々を校区サポーターとして登録いただき、問い合わせに対応できる環境を作りたい。</p> <p>また、実際に市外に在住する移住希望者に対するリードを獲得するため、当法人の理事2名も参画する「読書」と「ワーケーション」に関するイベントを豊橋市で行い、豊橋への関係人口を増やすとともに、「文化度が高く住みやすい豊橋を首都圏を中心としたビジネスパーソンへ届ける。</p> | | | | |
| 実効性 | ②事業の具体的な内容 | <p>①校区市民協働推進課や校区市民館へのチラシ配布等を通じ、豊橋市内の各校区に対して校区情報を発信することについて協力的な校区・メンバーを「校区サポーター」として募る。</p> <p>②参加可能な校区・メンバーに対し、メディアリテラシーと発信方法に関する講座を行う。</p> <p>③校区サポーターのネットワークを SNS で組織するとともに、当法人と連携しての情報発信の仕組みを各サポーターとともに整備する。</p> <p>④「読書ワーケーション」に関するイベントを行い、首都圏からの関係人口を獲得する。</p> | | | |
| | ③スケジュール 実施予定期間の始期から終期まで | 実施予定期間 | 令和7年4月1日から令和8年2月28日まで | | |
| | | 予定日 | 予定内容 | 予定会場 | 参加者数見込 |
| | | 4月-6月頃 | 校区サポーターの募集、選定 | 各校区市民館、 トライアルビレッジ等 | 校区サポーター：5名程度 |
| | | 7月-9月頃 | 講座の実施 | | |
| 10月-12月 | | 各サポーターと仕組み化策定 | 豊橋駅前貸会議室 | イベント参加者：50名程度 | |
| 1-2月 | スムイルでの情報公開 | | | | |
| 1月頃 | イベントの実施及び記事化 | | | | |
| ④実施体制 (実施メンバー) | 当法人理事6名および、読書ワーケーション推進協議会メンバー(当法人理事2名含む4名)、ボランティア若干名 | | | | |

事業計画書②

（つつじ補助金・くすのき補助金）

| | |
|---|---|
| <p>⑤この事業が公共の利益に寄与すると考える理由とこの事業を実施することでの市民(地域)への波及効果</p> <p>公益性・実効性</p> | <p>① 関係人口創出の効果：豊橋市の地域情報について、実情を知る住民自らがプラットフォームになることにより、関係人口の創出や移住を検討する際の情報提供が容易になります。また、実際に移住され生活拠点を構築している方のドキュメントを市外のライターが制作することで、関係人口創出につながります。</p> <p>② 地域コミュニティの活性化：自ら地域の情報を発信することにより、地域住民が自らの校区に愛着を持ち、周囲に対しての活動内容を発信することが可能になります。</p> <p>③ 移住検討者への情報提供：読書ワーケーションのイベントを行い、その広告発信をすることで他都市在住者からのリードを獲得でき、今後の展開へ繋がります。</p> <p>④ メディアリテラシーの強化：市民間のトラブルにつながらないように、一定のガイドラインに従って発信することでプライバシー権を侵さない情報発信が可能になり、校区住民の安心につながります。</p> <p>⑤ 豊橋市の文化度のアピール：豊橋発で読書に関するイベントを行うことにより、豊橋市の文化的成熟度を示すことができます。</p> |
| <p>⑥この事業実施後の今後の活動について</p> <p>継続性</p> | <p>次年度以降は今年度の取り組みを検証拡充しながら、ひきつづき校区サポーターの獲得・養成を行います。</p> |

（くすのき補助金）

| | |
|--|--|
| <p>⑦この事業の創造的又は開拓的である部分</p> <p>先駆性</p> <p>⑧この事業で団体の持つ専門性が生かされている部分</p> <p>専門性</p> | <p>⑦ 現在は個人ごとに発信されている情報に一定の集約効果が期待できます。また、豊橋市と連携協定のある当団体が一定の情報のスクリーニングを行い、ガイドラインを策定することで校区住民に配慮した情報発信が可能です。</p> <p>⑧ 当団体ではインタビュー原稿のライティングやメディア構築に知見を持つメンバーがおり、その経験を活かして心安全な情報発信を行うよう仕組みを整えるとともに、豊橋市の魅力を関係人口に対して継続的にPRできます。また、読書ワーケーションはすでにテレビ・雑誌でも情報発信している試みでもあり、首都圏人材からも認知度が高い試みです。なお、読書ワーケーション推進協議会メンバーで予定登壇者の沢渡あまね氏を起用して昨年当法人主催で行ったイベントでは、参加者68名のうち45名が市外からの参加であり、関係人口構築に確実に寄与できるものと確信しています。</p> |
|--|--|

備考 内容の記載は簡潔をお願いします。なお、必要に応じて各項目の枠を広げて使用できます。